

社団法人日本時計学会 平成 16 年度 事業報告書

(自 平成 16 年 1 月 1 日 ~ 至 平成 16 年 12 月 31 日)

・ 事業の状況

1. 研究会、学術講演会等の開催

(1) 学術講演会

春季講演会を 3 月 23 日、学士会分館 8 号室で開催。

研究論文発表 11 件、参加者 41 名であった。

研究論文 「モーメント付加による平行板ばね型位置決めステージの変位修正法」

「精密位置決め用一体型変位縮小機構の設計・試作」

「弾性変形を利用した PZT 軸力駆動による制動デバイスの設計・試作」

「人間の触覚特性を利用した触覚情報呈示法に関する研究」

「平面上の接触と滑りおよび直方体の角を識別する触覚センサ信号処理」

「超音波の反射波スペクトラム解析による反射面形状の識別」

「微弱無線を利用したスポーツモニタリングシステムの開発」

「Microsoft 社 "MSN Direct" に対応する腕時計の開発」

「KINETIC クロノグラフウォッチの開発 (Cal. 7L)」

「グランドセイコー強化耐磁モデル SMR40000 における非接触年差
精度調整法」

「白色系硬質膜の開発」

秋季講演会を 9 月 7 日、学士会分館 8 号室で開催。

研究論文発表 10 件、参加者 38 名であった。

研究論文 「CFRP 製ポータブル面状ヒーターの開発」

「管状複合材料の曲げ強度 - 福祉用具の軽量化の研究その 2 -」

「ウェアラブル機器外装への炭素繊維強化複合材料の応用」

「精密機械用接着剤の開発」

「マイクロ部品的高速旋削」

「棒と梁の衝突における運動特性とエネルギー分配」

「Si 微細加工技術を用いた低損失 2x2 小型光スイッチの開発」

「薄型超音波モータの開発」

「小型・高密度ペルチェ素子の開発」

「超低パワー SOI-IC 開発による SPRING DRIVE 長持続化への取組み」

(2) 研究会

長波標準時刻電波を利用した電波時計が近年注目されているが、この技術ではアンテナが重要なキーデバイスである。そこで「電波時計（長波受信）用フレキシブルアンテナの開発」のテーマで 6 月 25 日、中央大学理工学部 3108 号教室で、三洋電機（株）川合茂一氏を講師として研究会を開催した。参加者 39 名であった。

沖電気工業(株)研究開発本部ユビキタスシステムラボラトリーの福永茂氏を講師として、
「ZigBeeを利用したセンサネットワークの開発」というテーマで、11月19日(金)中央大学理工学部2526号教室で、研究会を開催した。

参加者21名であった。

(3) 見学会

会員の研修のため、長野県精密工業試験場の見学会を10月15日(金)に行った。本施設は県内の中小企業に対する技術指導や相談、依頼試験、施設開放、応用・開発研究や人材育成などの支援が主目的で設立されたものである。当日は施設の概要説明を受けた後、精密形状測定、メッキ成分高速分析、超微小硬度測定などの設備の見学を行った。

参加者は20名であった。

2. 時計及び時計応用技術に関する調査研究

マイクロメカトロニクスに関する学問・技術の分野における調査、研究を行うとともに、学会活動を振興することを目的に、下記に示す4つの分科会を継続した。

(1) ウェアラブル通信分科会(主査 池田泰久)

今年度の活動は特になかった。

(2) マイクロエネルギー分科会(主査 春日政雄)

昨年度までの活動にて、本分科会が目指してきたマイクロエネルギー技術の検討を終了した。今後は、技術動向を見守り、新規技術や関連技術の情報を収集、交換し、必要に応じて分科会委員を参集して、検討を行うこととする。また、マイクロエネルギーの研究に関する先駆者的な分科会であったことから、多方面からのマイクロエネルギー技術に関する話題提供、協力依頼に対して、今まで蓄積された成果を提供していくこととする。

(3) センサ分科会(主査 佐々木健)

今年度の活動は特になかった。

(4) 位置決め分科会(主査 吉村靖夫)

今年度の活動は特になかった。

3. 学会誌、学術図書等の刊行

(1) 「マイクロメカトロニクス」誌を下記のとおり年4回発行。

Vol. 47 No. 1: 平成16年 3月、500部

Vol. 47 No. 2: 平成16年 6月、500部

Vol. 47 No. 3: 平成16年 9月、500部

Vol. 47 No. 4: 平成16年12月、500部

(2) 「講演論文集」を下記のとおり年2回発行

春季マイクロメカトロニクス学術講演会講演論文集: 平成16年3月、300部

秋季マイクロメカトロニクス学術講演会講演論文集: 平成16年9月、300部

4. 研究の奨励及び研究業績の表彰

当学会初代会長青木保博士を記念して、日本時計学会誌上に掲載された優れた研究論文1編を選考し、その著者に「青木賞」を贈り表彰している。

本年度は、下記の受賞者を選考し、9月7日の秋季講演会で第38回青木賞の贈呈を行なった。

- ・受賞者：柳澤徹、山本泉、小峰伸一、塩路明弘
- ・受賞研究論文：非対称三脚音叉型振動ジャイロの振動解析（47巻2号掲載）

5. 内外関係機関等との交流及び協力

米国 National Institute of Standards and Technology、National Association of Watch and Clock Collectors、LIB. of Congress、英国 The British Library、Michael Faraday House、LIB. of Japanese Science & Technology、ロシア The Inst. of Scientific & Technical Informatin(VINITI)、ドイツ Universitats-und Technische Informationbibliothek との機関誌等の交換。

学術講演会、シンポジウム、研究会は、(社)日本機械学会、(社)精密工学会、(社)電子情報通信学会、(社)応用物理学会、(社)日本金属学会、(社)軽金属学会、(社)日本設計工学会、(社)日本塑性加工学会、(社)日本鉄鋼協会、(社)溶接学会、(社)計測自動制御学会、(社)電気学会、(社)日本応用磁気学会、(社)日本ロボット学会、NPO 法人ウェアラブル環境情報ネット推進機構の協賛を得て行った。

6. その他目的を達成するために必要な事業

特になし。

・ 処務の概要

1 . 役員等に関する事項

平成 1 6 年度末現在

役 名	氏 名	就任年月日	担当職務	手 当	現 職	備 考
会 長	板生 清	平成 15 年 3 月 11 日	業務の統括	無	東京理科大学 教授	平成 7 年 2 月 25 日
副会長	宮里孝典	〃	会長補佐	〃		昭和 58 年 2 月 26 日
常務理事	久保田浩司	〃	業務の総括	〃	セイコー時計 資料館 館長	昭和 58 年 2 月 26 日
理 事	石坂昭夫	〃	出版	〃	東海大学教授	平成 7 年 2 月 25 日
同	吉村靖夫	〃		〃		〃
同	中段和宏	〃	青木賞	〃	産業技術総合研 究所主任研究員	平成 9 年 2 月 22 日
同	中島悦郎	〃		〃	カシオ計算機 部長	平成 11 年 12 月 17 日
同	池田泰久	〃	未来事業	〃	NTT エレクトロニクス 部長	〃
同	保坂 寛	〃		〃	東京大学教授	〃
同	平石久人	〃	事業	〃	シチズン時計 取締役 MHT 開 発本部長	平成 12 年 12 月 15 日
同	春日政雄	〃	分科会	〃	セイコーインスツル 部長	平成 13 年 6 月 15 日
同	大隅 久	〃	講演会	〃	中央大学教授	〃
同	佐々木健	〃	総務	〃	東京大学 教授	〃
同	青木 茂	〃		〃	セイコーエプ ソン部長	平成 15 年 3 月 11 日
監 事	日野須磨子	平成 15 年 3 月 11 日		〃	国際精密通信社	平成 4 年 2 月 22 日
同	梅原 誠	平成 15 年 12 月 12 日		〃	シチズン時計 代表取締役社 長	平成 15 年 12 月 12 日

2 . 職員に関する事項

平成 1 6 年度末現在

職 務	氏 名	就任年月日	担任意務	手 当	備 考
事務員	中川 庸幸	平成 10 年 10 月 12 日	庶務、会計	4 0 0、0 0 0 円	平成 16 年 9 月 16 日退職

3. 役員会等に関する事項

(1) 理事会

開会月日	議 事 事 項	会議の結果
1月30日	平成15年度事業報告案の件 平成15年度収支決算案の件	可決・承認 可決・承認
3月23日	事務委託業務追加の件	可決・承認
9月7日	青木賞表彰の件	可決・承認
12月17日	日本学会事務センター破産に伴う業務委託の件 平成17年度事業計画書案の件 平成17年度収支予算案の件	可決・承認 可決・承認 可決・承認

(2) 総会

開会月日	議 事 事 項	会議の結果
3月23日	平成15年度事業報告案の件 平成15年度決算報告案の件	可決・承認 可決・承認
12月17日	平成17年度事業計画書案の件 平成17年度収支予算案の件	可決・承認 可決・承認

4. 許可、認可、承認、証明等に関する事項

該当なし。

5. 契約に関する事項

契約年月日	相 手 方	契約の概要
平成13年1月1日 平成16年8月17日(解約)	財団法人 日本学会事務センター	当学会の庶務、会計等の事務業務の委任
平成16年11月1日	NPO法人 精密科学技術ネットワーク	当学会の庶務、会計等の事務業務の委任

財団法人日本学会事務センターは平成16年8月17日に破産宣告を受けたため日本時計学会が委託していた庶務、会計等の事務業務を継続することができなくなり、契約は解約となった。その後、平成16年11月1日にNPO法人精密科学技術ネットワークと庶務、会計等の事務業務の委託に関する契約を結んだ。

6．寄付金に関する事項

該当なし。

7．主務官庁指示に関する事項

該当なし。

8．その他重要事項

該当なし。

会 員 の 異 動 状 況 書

会員種別	員 数		増 減 数	摘 要
	本年度末 平成 16 年 12 月 17 日現在	前年度末 平成 15 年 12 月 12 日現在		
正 会 員	2 5 5	2 5 5	0	
賛助会員	2 7	2 7	0	
学生会員	2 0	2 0	0	
名誉会員	1	1	0	
計	3 0 3	3 0 3	0	